

## [ 個 人 ]

名 称 生年月日	にしむら せいしん 西村 清信 大正9年2月13日生 82歳
住 所	富山県砺波市新又3番地の10
職 業	無 職
功績の概要	<p>同氏は、昭和57年より公園内の清掃、花壇花木の植栽管理を始め、昭和61年には花と緑の銀行地方頭取（富山県独自で設立した組織で、自主的な緑化運動を推進するために設立されたもの）に就任するなど、緑化推進運動の全般的な指導者として、緑化計画の策定や地域住民への緑化意識の高揚に献身的に尽力した。</p> <p>花壇造成を通じて緑化推進に貢献するほか、油田地区の全住民が花と緑の推進活動に参加し、うるおいある地域づくりを推進するための「油田地区花と緑の推進協議会」の設立に尽力し、その会長として率先して花づくり講習会や土作りに積極的に参加し、その普及啓発に貢献した。</p> <p>活動組織の要職を辞した現在も、長年の経験と実績を生かして地域の緑化活動に尽力している。</p>

[個人]

<p>名 称 生年月日</p>	<p>まるお さだお 丸尾 貞雄</p> <p>大正14年5月20日生 77歳</p>
<p>住 所</p>	<p>香川県観音寺市観音寺町甲3163番地3</p>
<p>職 業</p>	<p>無 職</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同氏は、ひがし児童公園において、19年にわたり利用者、とりわけ児童や高齢者が快適に利用できるよう、四季を通してほぼ毎日公園の美化に努めている。</p> <p>同氏の一日は早朝の公園清掃から始まる。まず公園のゴミの分別収集、便所の清掃を終えると公園全体に目を配り、後の作業計画を考え、四季に応じた除草、剪定、灌水作業や遊具の補修などに汗を流している。</p> <p>名も告げずに公園施設補修用の資材を置いていく人もいるなど、同氏の行為に対する感謝の気持ちは地域で深まっており、地域住民への緑化・美化の啓発に大きく貢献している。</p> <p>同氏は、「私たちが利用する公園は私たちで守ろう。公園は社会の窓。その窓が曇ったら何も見えなくなる。身体が動く限り続けたい。」と今後のボランティア活動への意欲を語っている。</p> <p>同氏がボランティア活動を実施している公園は児童公園であり、児童、生徒の利用が多く、同氏の長年の献身的な活動は社会教育の良き教師といっても過言ではなく、緑化・美化の推進のみならず、地域住民のボランティア意識向上の面でも多大な貢献をしている。</p>

[ 団 体 ]

<p>名 称</p>	<p>あろ う だいちょうめにしこうえんあいごかい 荒生田一丁目西公園愛護会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福岡県北九州市八幡西区東山1丁目1番14号</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 余嶋 一男</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は昭和30年から活動を始め、樹木の手入れ、除草、清掃、花壇の管理、美化活動等の定例活動を継続して行っており、その結果同公園は幼児でも安心して遊べる公園として、また年長者の憩いの場として、常に良好な状態に維持管理されている。</p> <p>緑化活動の実施にあたっては、他の地域の住民団体等と協同で、公園ばかりでなく、公園周辺の道路清掃等も併せて行っており、公園を中心として、周辺の住民団体を含めた地域ぐるみの緑化活動へと発展している。</p> <p>さらに、住民による地域ぐるみの緑化活動の実施が、同地域にある専門学校の30人を超える生徒・教員らによる毎週1回の公園、道路等の緑化・清掃活動や、信用金庫職員による毎週1回の公園清掃活動の実施へとつながってきており、同愛護会の緑化活動は、地域の住民団体、学校、企業等の緑化活動の推進に大きく貢献している。</p>

[ 団 体 ]

<p>名 称</p>	<p>おおつちちょうこうみんかん きりきりぶんかん うんえいいいんかい 大槌町公民館 吉里吉里分館 運営委員会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里1丁目3番53号</p>
<p>代 表 者</p>	<p>分館長 堀合 豊勝</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会では、昭和50年4月頃から「地域的美観は地域住民から」のスローガンのもとに、地区民一体となって清掃作業、法面の草刈り、道路脇の花壇への植栽など、環境整備に積極的に取り組んでいる。</p> <p>毎年の活動として、春・夏・秋の3回、地区民一斉の大清掃や毎月第2日曜日の定例清掃、海水浴シーズンを前にした海岸清掃、国道沿いの花壇の手入れ等を実施し、連帯や郷土愛の精神の醸成を図るとともに、先人が育んできたふるさとの美観を後世に伝える活動を展開し、地域の連携を一層深めている。</p> <p>また、平成9年10月、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、大槌漁港を会場に開催された「第17回全国豊かな海づくり大会」に向けた取り組みにおいては、これまでの地域活動への経験を生かし、先導的な役割を果たすとともに、大会成功に向け積極的な活動を展開した。町を一つにした取り組みの結果、大会は成功を収めたが、同会は、大会開催を契機とした更なるまちづくりやまちづくりへの町民意識の高揚に多大な貢献をするとともに、現在もその活動を継続推進している。</p>

[ 団 体 ]

<p>名 称</p>	<p>ハウステンボス株式会社 <small>かぶしきがいしゃ</small></p>
<p>所 在 地</p>	<p>長崎県佐世保市ハウステンボス町1-1</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 森山 道壯</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同社が立地する土地（152ha）は、従前、工業団地用地として造成された荒れ地であった。この土地に「森」を造るため、良土の搬入と堆肥、ピートモスなどの有機的な改良方法を採用し、40万本の植樹を行った。また鳥などの生物により運ばれた実などによる「実生苗」も数10万本に達し、敷地に対する緑地は、約6割を占め、昆虫145種、鳥類60種を確認するほど生物が棲む森となっている。</p> <p>植栽の肥料、散水用水は、生ゴミの堆肥化、排水の高度処理を行い使用しており、余剰水及び雨水は、地下浸透させて緑への水のかん養となっている。この処理水は、施設の水使用量の約40%を賄っている。</p> <p>平成6年にはハウステンボス環境文化研究所、ハウステンボス環境研究会を設立し全従業員を所属させ、環境保全についての調査、研究、実践活動を行い、その成果を社会へ提供し、社会へ役立てることを一つの目標としている。また、従業員による植栽を行うとともに、平成8年には、土壌・樹木の状態について調査し、成果を基に、樹木の育成管理を行うなど、更なる緑化推進を図っている。</p>

[ 団 体 ]

<p>名 称</p>	<p><small>ひがしちょう</small> 東 町さつきクラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>鳥取県米子市東町183番地</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長            大石 義一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>昭和50年に結成された同クラブは、東町公園及び周辺区域の除草清掃を会員がほぼ毎日実施し、公園、花壇管理を中心に活発な活動を続けており、その活動状況は非常に顕著である。</p> <p>「草を生やすのではなく、公園を花いっぱいにしよう」という呼びかけのもとに会員が集まり、公園、花壇等の除草、清掃を実施し、美化・緑化活動の推進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>花壇では、春にワスレナグサ、ホウセンカ等、秋にはチューリップ、ユリ等を植栽し、四季を通じて花づくりに取り組んでいる。植栽された花は多くの人々に鑑賞され、学校の小遠足の場として利用されるなど、中心市街地の中の貴重な緑地、花壇として、市民に憩いと安らぎの場を提供している。</p> <p>また、子供の健全な育成を図るため、近隣の保育園と協力し、各種行事を公園で実施するなど、地域のふれあいを大切にし、緑化の啓発、公園利用促進に大きく貢献している。</p>

[ 団 体 ]

<p>名 称</p>	<p>よしだちょうはな かい 吉田町花の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県榛原郡吉田町片岡2206 - 3</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 水野 吏</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、吉田町全体を花いっぱいにして心豊かなすみよい環境をつくろうと、花好きの有志が集い、昭和32年に設立された団体である。</p> <p>会員は160名であり、設立以来の長きにわたり花いっぱい活動を実践している。3年前から町との共催による花いっぱい講習会を開催し、普及啓発活動に熱心に取り組んでいる。</p> <p>同会所有の育苗ハウスでは、年間2万本を超える苗を生産し、各種イベント等で来場者に配布するなど、特色ある活動を展開している。</p> <p>また、花苗は、町内の各道路等の他、イベントのシンボル花壇等にも植栽され、地域住民、観光客を楽しませ、心を癒している。</p> <p>「しずおか緑・花・祭」等各種イベントでは、花壇の展示の他、会場内の花摘み、散水や除草を行うボランティアに多くの会員が参加し、イベントの成功に向けて積極的な取り組みを行うなど、常に地域の緑化推進運動の中心的役割を果たしている。</p>